

「複移動平均線検索で出来る事」

JP法研究会 富士栄

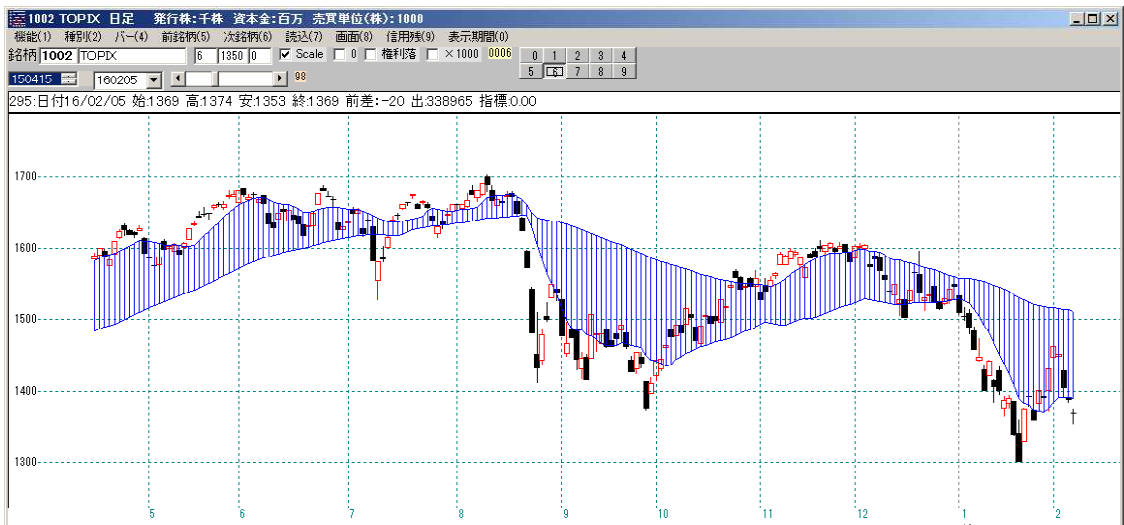
分析チャートー指標「45. 複移動平均線」の検索について解説します。

OK

入力画面

移動平均 周期-1-	9
移動平均 周期-2-	13
移動平均 周期-3-	26
移動平均 周期-4-	52
移動平均 周期-5-	75
1.ゾーン 0.ライン	0
権利落 0.修正前 1.修正後	1

1. ゾーン表示



2. ライン表示



絞り込み検索 「67. 複移動平均線」

この検索で出来る事は、複移動平均線のゾーン（帯）と終値を比較し、帯を上抜けたか、下抜けたか、何日間帯の上にあるのか、下にあるのか

帯がどのくらい狭くなっているのか（広がっているのか）

帯を形成している各移動平均線（ライン表示など見やすい）の上向き本数は何本かなどといった条件でスクリーニングする事ができます。

※移動平均線の上向き本数については、必須となっています。

各移動平均線の上向き本数は、無視してスクリーニングしたい、という事は出来ません。

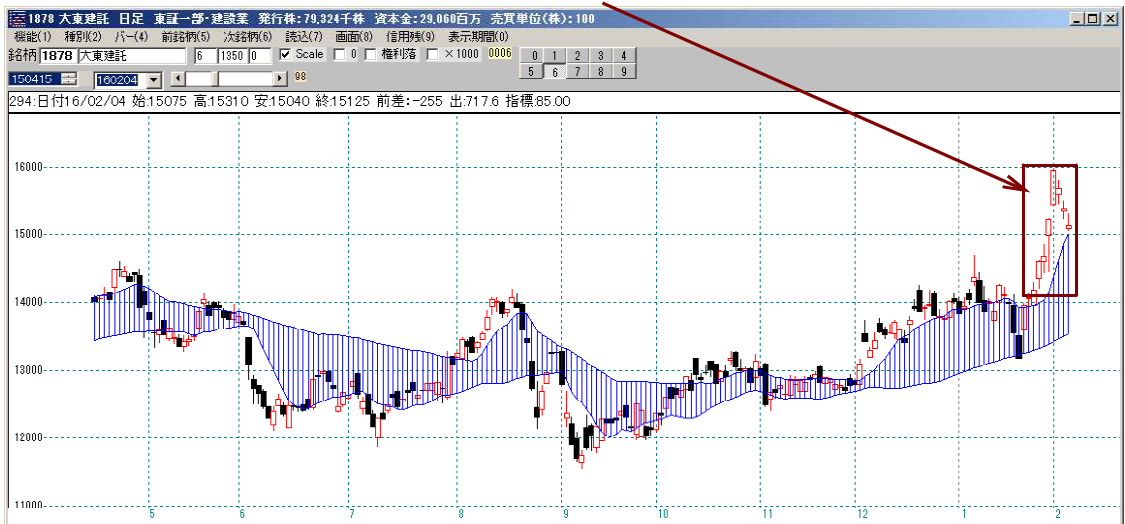
分かりにくそうな項目を説明します。

この場合は、「5日間」連続してゾーン（帯）の上にある銘柄をスクリーニングします。

日数は、ピッタリな数です。よって、10日間連続していても、合格してきません。

5日間以上、連続して上にあるという内容ではありません。

例. 5日以上、ゾーン（帯）の上にあるため、合格しない

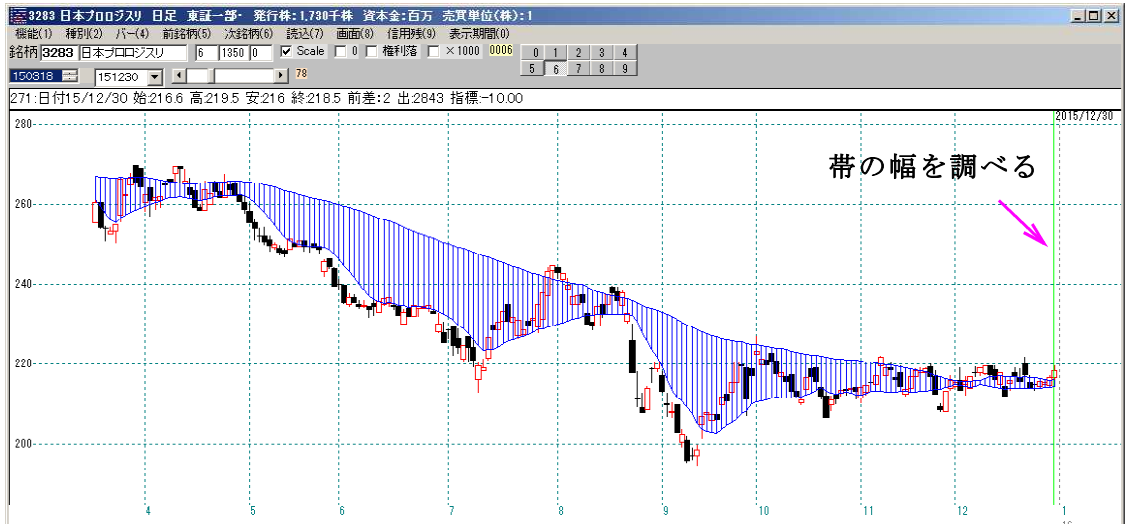


ゾーン（帯）の収れんについて

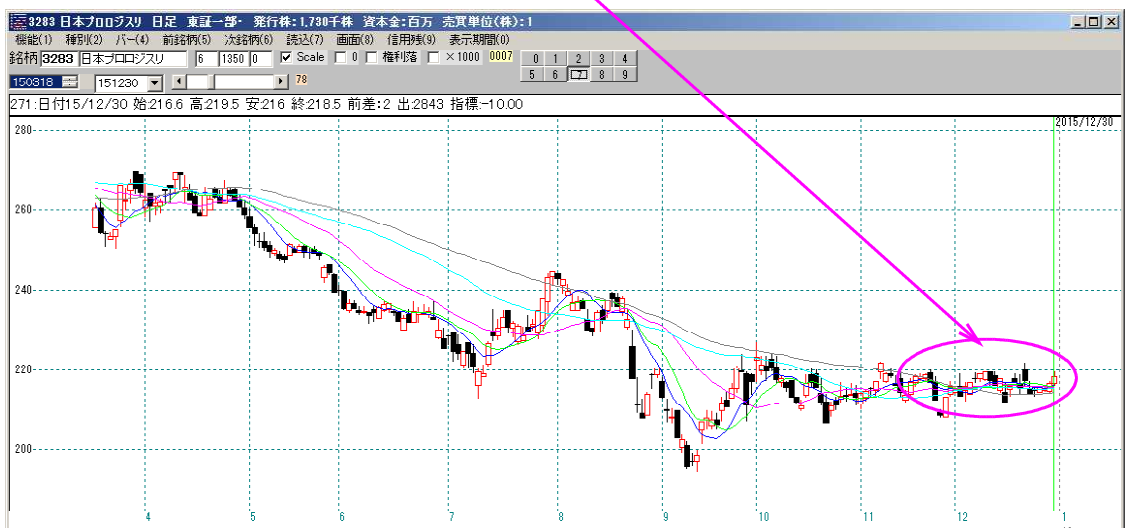
チャートが横ばい、振幅が少なくなってくると、各移動平均線の数値が接近し、ゾーン（帯）が狭まってきます。

その狭さをスクリーニングできます。

狙いは、収れんしてきたから、上、下どちらかに動意付くタイミングではないか？という考えがもとになっています。



各移動平均線が近づいてきている。 チャートの形的には、横ばい



需要があるかどうかは、分かりませんが、上述の逆、すなわちゾーン（帯）が広がっている、というスクリーニングも可能です。

チャートの形的には、上、下どちらか一方通行となっている時です。

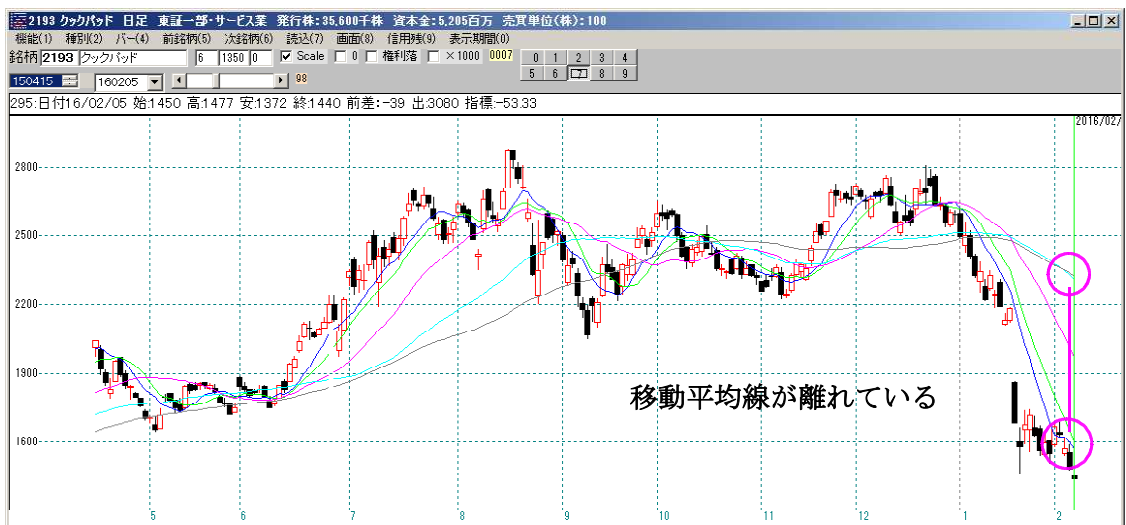
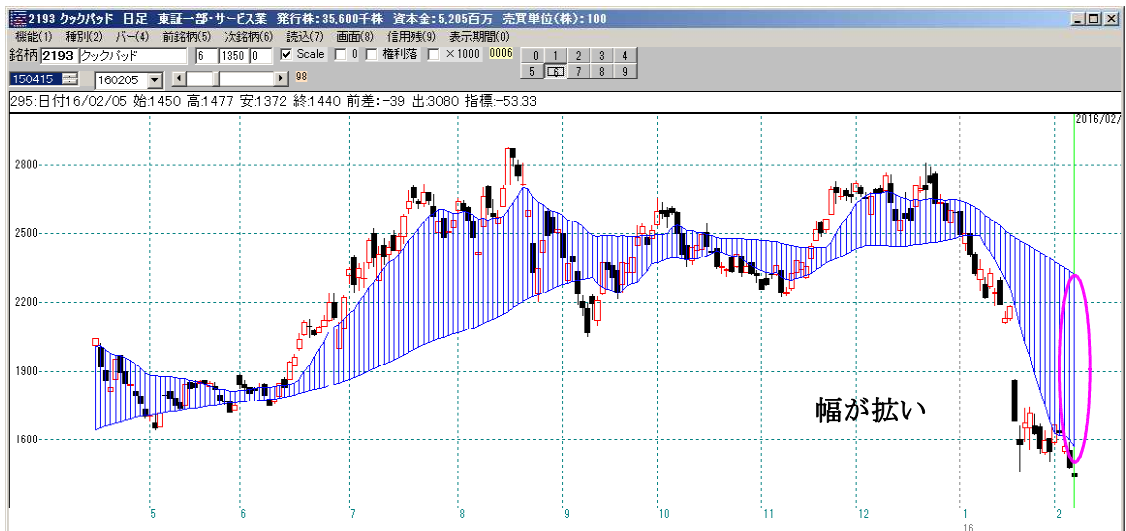
2016/2/5 のスクリーニング ゾーンの幅広をとらえる

このようにしてみます。

無視(収れんとセット)

複移動平均線の幅が中心値から何%になっているか
収れん条件 %以上～ %以下

移動平均線の上向きの本数を調べる
当日 本以上が上向き 解説
過去 日間、上向きが 本以下



各移動平均線の上向き本数を調べる

本検索で必須項目となっています。向きは無視してスクリーニングしたい、とは出来ません。

※この検索は特注版で、あるユーザー様のご意見を反映しているためです。

移動平均線は5本ありますから、数値の最大は「5」となります。

小数点部は、0.5です。 前日同値、上向きでも下向きでもない場合は「0.5」と設定してください。

下記の例だと、何本以上という設定なので、「3.5」、「4」、「4.5」、「5」が合格してきます。

ここをクリックすると解説が表示されます。

移動平均線の上向きの本数を調べる

当日 本以上が上向き 解説

過去 日間、上向きが 本以下

過去については、当日を含みません。「1」だと前日のみ、「10」だと当日を含めない過去10日間となります。

相場が下落し続けると、5本全ての移動平均線が下向きとなります。

つまり、上向きは「0」となります。

下記は、全部下向きという設定です。

移動平均線の上向きの本数を調べる

当日 本以上が上向き 解説

過去 日間、上向きが 本以下

当日、全部上向きはこうなります。過去も5本、上向きという設定は出来ません。

移動平均線の上向きの本数を調べる

当日 本以上が上向き 解説

過去 日間、上向きが 本以下

この項目の狙いは、相場が下降から上昇へ転じる時は、基本、順番に移動平均線が上向きになってきます。よって5本のうち、多数決で3本が上向きとなったら上昇転換とする、という考えを採用したものです。